

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくしんぼくらぶ			
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日 ~ 令和6年10月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日 ~ 令和6年10月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月28日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【環境・体制整備】 ・訓練等の活動スペースが、十分に保てている。 ・スタッフ数が適正である。	【環境・体制整備】 ・居室面積を十分に確保している。 ・児童の特性に応じてフロアを分けて活動している。 ・指導員は全て常勤スタッフで配置している。	【環境・体制整備】 ・常勤スタッフの確保・積極採用を推進していく。 ・専門スキル保持スタッフ導入の検討する。
2	【満足度】 ・保護者+児童からの、通所に対する安心感・信頼感を得ている	【満足度】 ・支援スタッフが定着勤務できている(入れ替わりがほぼ無い)。 ・事業所での日々の出来事を逐一報告している(プラス面+マイナス面の両方をありのまま)。	【満足度】 ・勤務条件の見直し(昇給など)・残業無し・積極的な有休消化推奨など、モチベーション維持を図る。 ・スタッフ間の報告・連絡・相談の徹底を指導(定例ミーティング実施・ヒヤリハットの活用)。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【適正な支援の提供】 ・近隣地域との交流全般が不足しており、関係性が希薄である。	【適正な支援の提供】 ・対外的な組織(役所・地域小中学校・町内会・児童会・老人会など)との関りができていない。 ・規程勤務時間内での取り組みが困難。	【適正な支援の提供】 ・集まり・会議等への積極的な参加。 ・オンラインシステム(ZOOM等)の活用。 ・事業所でのイベント実施+案内を広く外部に積極的に発信していく。
2	【保護者への説明等】 ・保護者・きょうだい同士の交流ができていない。	【保護者への説明等】 ・保護者間の都合・調整のやり取りが難しい。 ・交流に消極的な保護者が多い。 ・日々の様子を伝えるツールとして連絡帳(文章)だと反応が薄い場合がある。	【保護者への説明等】 ・電話連絡や送迎時など、直接交流の場を増やしていく様検討する。 ・必要に応じて、面談回数を増やす。 ・制度の活用・導入を積極的に行う(家庭連携加算など)。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	つくしんぼくらぶ							公表日	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	回収数	利用児童数
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	0			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	14	1	0	0	作業療法士や言語聴覚士など専門分野の資格保持者はいない。		必要に応じて資格保持スタッフの配置を検討する。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	個別支援計画にわかりやすく書かれている。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	0	障がい特性を踏まえ、ある程度の固定化は必要。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	3	4	4	地域清掃などは行っているが、ほかの交流は少ない。		連携不足であり、各方面での関係強化を検討していく必要がある。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0	事前見学時や、契約の際に説明を行っている。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	3	2	表立った家族対象のものはないが、個別に進路相談に役立つ情報共有はしている。		家族支援・研修等の情報提供は不十分と思われ、積極的に行っていける様、注力していく。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0	・保護者対応窓口を設けている。 ・連絡帳にわかりやすく書いてくれている。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0	保護者対応窓口を設けている。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	4	3			保護者同士の活動の場を設ける機会はほぼ無く、実施検討は今後の課題である。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	2			

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	0		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているだと思いますか。	15	0	0	0		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	0		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0		
	29 事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つくしんぼくらぶ				公表日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・フロアを分けて活動している。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・児童指導員の専従スタッフを全日2名配置している	・法定人数で収まっているが、スタッフが1人欠勤すると現場が回らなくなる日がある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・ホワイトボードによる可視化を行っている。 ・特性に応じ2階・3階に分け支援している。	・身体障がいの設備利用は難しい（主に2階～3階で支援を行うため）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日スタッフにより清掃を行っている。 ・訓練室の面積が広い。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・個別の部屋はないが、職員の隣に座ってもらう等工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・個別の課題+報告会を行っている。 ・終礼やミーティングの定期実施をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・課題報告やミーティング、終礼で意見交換を行っている（個別の相談もあり）。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		・外部評価の実施は不十分であり、実施検討が必要である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・施設外研修には概ね参加。研修報告にて共有している。	・法人内での研修機会は少なめと思われる。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・LDT-Rや面談などを元に作成している。 ・計画作成時に保護者へニーズの確認を実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・スタッフ間での意見も取り入れている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・支援計画に沿って個別の課題を設定している。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		

供 給	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・ミーティング等を行い、役割を決めてい る。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・業務後終礼を実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・支援日誌とともに個別で支援に関しての記 録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・アセスメントの見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	4		・「基本活動」の認識が十分でない ・地域との交流が薄い。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・本人に選択してもらうような機会を作るよ うにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・必要であれば通院にも同行している。 ・必要に応じ、学校等の関係機関に連絡し、 情報を共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		・地域の小・中学校とのやり取りは不十分と 思われ、連携強化が課題。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・児童発達支援→放デイに変わるタイミング で、事前に訪問し引継ぎを行う。	・ほとんどの利用者が就学途中からの利用の ため、連絡する機会がない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7		・連携不足であり、関係強化検討が今後の課 題である。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動す る機会があるか。	0	7		・交流不足であり、関係強化検討が今後の課 題である。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・さかい障がい児放課後連絡会や移動支援 ネットワークに参加（任意加盟）している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	7	0	・日々の連絡帳や、活動の様子を写真などで 伝える等。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	4	3		
保護 者 と の 連 携	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行 っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意 思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・保護者からニーズの聞き取りをしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・個別面談を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7		・保護者同士の活動の場を設ける機会はほぼ無く、実施検討は今後の課題である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・不定期ではあるが活動通信を作成・発行している。 ・行事予定などは都度案内を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・保護者に対し案内配布のみでなく、個別連絡で伝える工夫（忘れ物対策）をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・コロナ前はイベント等を行っていたが、現在は自粛傾向。地域清掃を実施する事によって近隣住民との交流をはかっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・避難訓練の実施は必須、災害時の非常食を食するイベント・活動も実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・発作時対応マニュアルを作成しスタッフ間で周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	・現状は対象者がいないが、初回・継続契約時に必ず聞き取りを実施する等、都度情報を共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3	・送迎車の安全装置は装着済み。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・身体拘束についての同意書（対象利用者）を取り、支援計画等に反映。身体拘束を行った際は詳細を支援日誌に記載している。	